

他のソフトとの連携

福井コンピュータ社製の建築CADの建物データを取り込む場合

福井コンピュータ社製の建物データを取り込む場合、「.rik」形式の圧縮ファイルを作成してもらい、それをRIKCAD21の物件管理システムの「.rik起動」機能から取り込みます。

<連動作業>

建築CAD側で「.rik」形式の圧縮ファイルを作成し、送ってもらう。

「.rik」ファイルの中には、
建物の立体データ（.3dsファイル）
使用された材料の画像ファイル（.jpgファイル）
連携の為の中間ファイル（.iniファイル）
が入っています。

RIKCAD21の物件管理システムを起動する。



フォルダマークの「新規作成」ボタンをクリックし、これから作成するデータを保存するフォルダを作成した上でそのフォルダをダブルクリックで開きます。



をクリックし、 で作成された「.rik」ファイルを開く。

「.rik」ファイルを開いた時点で、RIKCAD21が自動的に起動します。

RIKCAD21が起動した時点で、gsmファイルに変換された建物と、1F間取りの画像が平面図に配置された状態になります。3Dウィンドウでの表示を含め、表示に問題がないかを確認します。

メニューバーの「ファイル」 - 「名前を付けて保存」から、plnファイルとして保存。
保存先が で作成したフォルダである事を必ずご確認ください。

<取り込んだ建物がひっくり返っている場合>

建物の変換をやり直していただくこととなりますが、RIKCAD21を閉じる前に以下の作業をしてください。

平面図画面のメニューバーより「作図 - 補助」 「3dsコンバーター」 「3DSオプション」をクリック。

表示されたオプション画面の変換設定の座標設定を「x=x」「y=-z」「z=y」と設定し、OKをクリック。

他のソフトとの連携



この後RIKCAD21を終了し、物件管理で作成したフォルダも一度削除した上で、もう一度<連動作業>の の作業からやり直してください。

物件管理システムを使用したRIKファイルの取込み方法

一意的なソリューション ID: #1306

製作者: 亀田

最終更新: 2019-05-09 11:54